

平成22年6月25日
生活環境部原子力安全対策課

原電東海第二発電所の残留熱除去系海水系の流量低下に伴う 原子炉の停止について

1 原子炉停止判断日時

平成22年6月25日（金） 20時00分

2 発生場所

日本原子力発電株式会社東海第二発電所

3 状況

- (1) 原電は、6月17日、残留熱除去系(B)海水系^{※1}の流量が低下(規定流量 492.1L/秒のところ 480L/秒)したため、点検を実施しておりました。

点検を行ったものの、規定流量を確保できなかったことから、原電は、本日午後8時、東海第二発電所の原子炉を停止すると判断^{※2}し、26日午前1時から停止操作に入ることを決定しました。

今後、原電に対し、原因を調査のうえ報告させることといたします。

※1 残留熱除去系は原子炉を停止した際に発生する燃料の崩壊熱の除去を行う系統、当該系統の冷却に海水を利用

※2 当該系統が6月27日まで(10日間以内)に復旧出来ない場合は、原子炉を停止することが保安規定に定められております。

- (2) 放射性物質の漏えい； なし
(3) 環境への影響； なし
(4) 人の汚染・被ばく； なし